



小野 恵章 議員

1、前阿部市政の継承と渥美市政の施策について

Q 前阿部市政の継承と渥美市政の政
策について①協働のま
づくりの今後について。
②市長の市政に対する市
政報告会、市民懇談会を
開催すべきと考えるが。
③部長マニフェストの取
り扱いについて。
④児童、生徒の学力向上
策について。
⑤自衛隊松島基地との、

A 共存共栄について。
⑥市民からの要望、陳情
の取り扱いについて。
Q 市長 ①市民、あ
らゆる団体、NP
Oなどが、参画する「総
働」のまちづくりを実現
していきたい。
②本年度、4ヶ所を開催
予定し継続してゆく。
③インナーマニフェスト
として、これまでどおり

実施、各部長いくつか柱
を示し広報してゆく。
④学力低下を重く受け止
め、夏休みの短縮等も検
討し強力に進める。
⑤連携協力し、基地交付
金等の予算確保、諸要望
を強く働きかけてゆく。
⑥財源や内容を確認、必
要な措置について対応、
市長の政治判断もある。



▲松島基地との共存共栄を

Q 市長報告会懇談会を開催すべき

A 本年度、4ヶ所で行なう



▲子供たちのために、今できることを

1、発達障害児童、生徒と保護者
に対する市内教育現場の対応
について



齋藤 徹 議員

Q ①発達障害児に
対する教員対応の
方向性の統一について
②該当する児童への支援
協力、周知方法について
③発達障害児の保護者へ
のカウンセリングの効果
について
A 教育長 ①発達障
害児に対して教員
のスタンスの違い、温度
差はあつてはならないと

認識している。
今後は、研修等で発達
障害への理解を深め、教
員全体へフィードバック
していく。
②学校行事等の教育活動
を通じて、発達障害児に
対する保護者、地域への
周知と理解を深めていき
たいと考えている。
③保護者に対するカウン
セリングは、就学相談や

指導方法等に有効な手段
であると認識しているが、
教育委員会等の関係機関
を介して各方面と連携対
応する事で、学校教育に
対する幅広いニーズや期
待に添えていく。
今後は更に、保護者か
らの支援要請等に対して
真摯に添えていく。

Q 発達障害児に対する教育現場の対応について

A 教員の温度差はあつてはならない